

平成28年度 富山大学学長裁量経費 採択事業 計画の概要

□「富山大学の強み・特色ある研究の推進」に係る事項

区 分		所属部局 学 科	理学部 化学科	代 表 者 の 職 名・氏 名	教 授 井川善也
計画の名称		理工・医薬リサーチ・アライアンスによる RNA 機能ネットワークの統合理解			
		氏 名	所属部局・職名	役 割 分 担	
研究組織	研究代表者	井川 善也	理学部・教授	全体取りまとめ・RNA2017 富山_年会長 原核生物グループ	
	研究分担者	廣瀬 豊	薬学部・准教授	富山 RNA ワークショップ・ 真核生物グループ	
		甲斐田 大輔	医学部・准教授	学外 RNA 研究ネットワーク連携・ 真核生物グループ	
		迫野 昌文	工学部・准教授	RNA-生体分子相互作用解析・ 技術支援グループ	
		松村 茂祥	理学部・IT 助教	学内若手 RNA 研究者の交流・ 原核生物+技術支援グループ	

本申請計画の概要

- (1) ポストゲノム時代の生命科学において、多彩な機能と制御を担う RNA 分子の重要性は急速かつ多方面に拡大しつつある。富山大学で RNA 関連分野の研究を展開する理工医薬4学部の5研究グループが連携し、「RNA 機能ネットワークの統合的研究のアライアンス」を構築する。
- (2) 5つの研究グループが連携協力し「mRNA をハブとする RNA 機能ネットワークの解明」の課題に取り組む。mRNA は遺伝子発現の上流（転写）～下流（翻訳）までを統合的に制御する「ハブ分子」であることに着目し、mRNA と低分子・タンパク質の相互作用解析を通じ、そのネットワークを解明する。
- (3) 生体化学から細胞生物学にまたがるグループ間のシナジー効果を活用して、近年その役割が注目される「mRNA 上のメチル化修飾」の機能解明を連携研究として展開する。
- (4) 「RNA 機能ネットワークと低分子化合物や非コード RNA との相互作用」を意識して研究を行う。将来、RNA 機能ネットワークを標的とする新しい疾患治療薬（真核細胞の研究から）、抗生物質（原核細胞の研究から）、RNA 医薬などの探索に繋がる環境を整備する。
- (5) 「学部を横断した若い RNA 研究者の交流・育成の場」である富山 RNA 倶楽部、富山での開催が決定した「日本 RNA 学会 2017 年会」事務局と連携し、本アライアンスを学術人材育成と交流の中核組織とする。

